

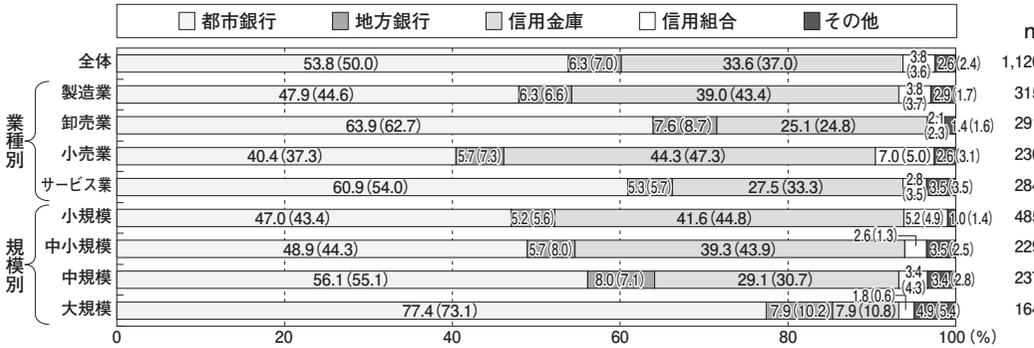
都内中小企業の事業資金に関する調査

(令和2年11月調査)

1. 主な取引金融機関

主な取引金融機関は、全体では「都市銀行」が53.8%（前回調査50.0%）で最も高く、次いで「信用金庫」が33.6%（同37.0%）の順である。業種別にみると、卸売業では「都市銀行」が63.9%（同62.7%）、小売業では「信用金庫」が44.3%（同47.3%）と高い。規模別にみると、規模が大きくなるほど「都市銀行」が高くなり、大規模では77.4%（同73.1%）を占める。

図表1 主な取引金融機関

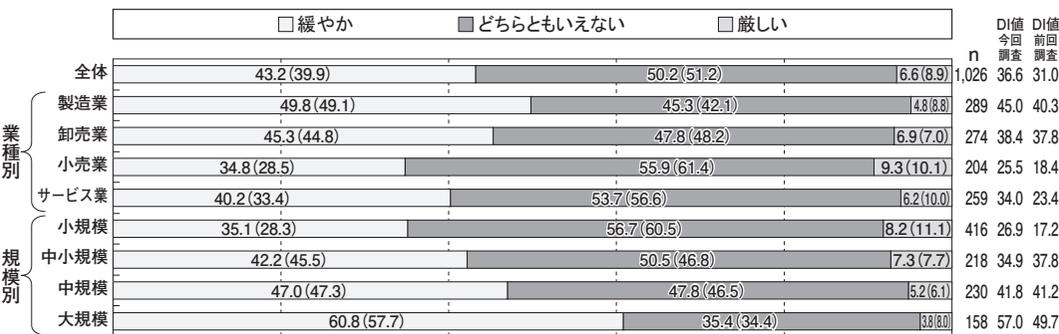


注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。()内は前回調査(令和2年5月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

2. 借入や返済に対する姿勢

主な取引金融機関の借入や返済に対する姿勢をDI値（「緩やか」 - 「厳しい」）でみると、全体では36.6（前回調査31.0）となり前回調査と比べて5.6ポイント上昇した。業種別にみると、製造業45.0（同40.3）が最も高い。サービス業34.0（同23.4）は、前回調査と比べて10.6ポイント上昇した。規模別にみると、小規模26.9（同17.2）が9.7ポイント上昇した。

図表2 取引金融機関の借入や返済に対する姿勢



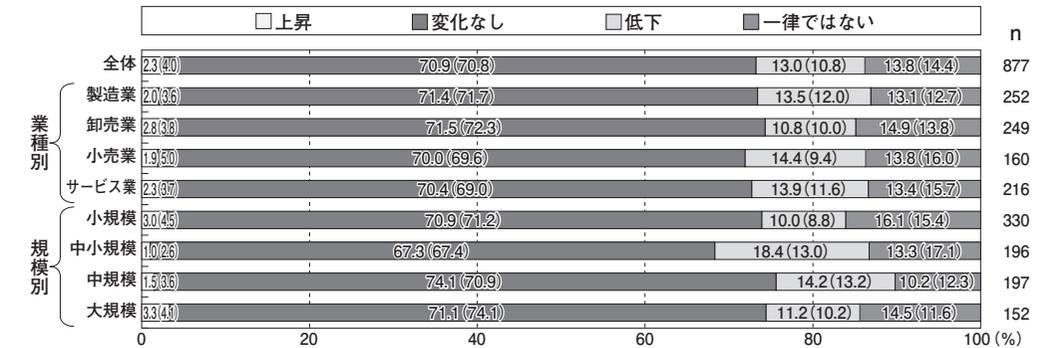
注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。()内は前回調査(令和2年5月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

3. 主な取引金融機関からの借入金利

(1) 金利傾向

主な取引金融機関からの借入金利の傾向は、全体では「変化なし」が70.9%（前回調査70.8%）と最も高い。また、「低下」が13.0%（同10.8%）で「上昇」の2.3%（同4.0%）を上回る。

図表3 金利傾向

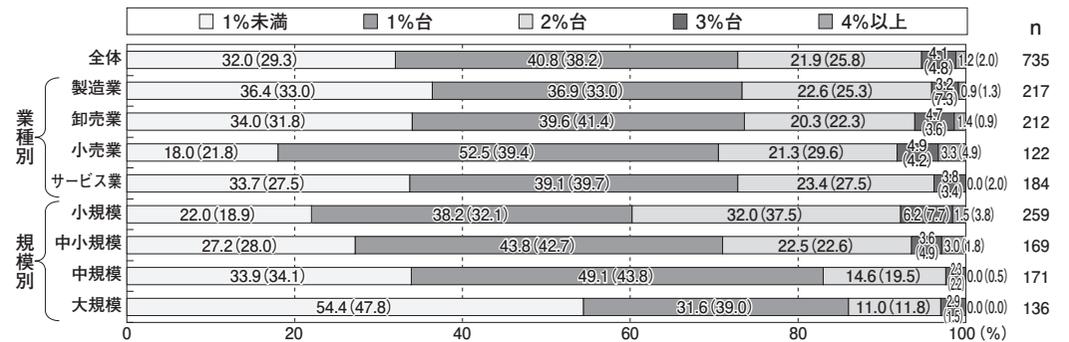


注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。()内は前回調査(令和2年5月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

(2) 金利水準

最近の借入金利は「1%台」が40.8%（前回調査38.2%）と最も高く、次いで「1%未満」が32.0%（同29.3%）、「2%台」が21.9%（同25.8%）となった。業種別にみると、小売業は「1%未満」が18.0%（同21.8%）にとどまる。規模別にみると、規模が大きくなるほど「1%未満」が高くなり、大規模では54.4%（同47.8%）を占める。

図表4 金利水準



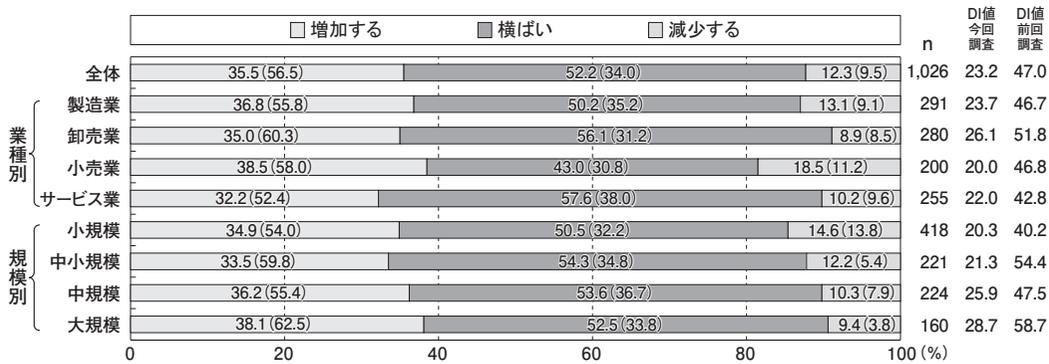
注) 無回答を除き集計。()内は前回調査(令和2年5月)の数値。3年超5年以内、保証協会の保証付以外。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

4. 資金需要

(1) 今後3か月間の資金需要

今後3か月間の資金需要をDI値（「増加する」－「減少する」）でみると、全体では23.2（前回調査47.0）と前回調査と比べて23.8ポイント低下した。業種別にみると、卸売業26.1（同51.8）は25.7ポイント低下、小売業20.0（同46.8）は26.8ポイント低下し、すべての業種で20.0ポイントを超える低下となった。規模別にみると、すべての規模で低下した。なかでも、中小規模21.3（同54.4）は33.1ポイント低下した。

図表5 資金需要（今後3か月間）



注) 無回答を除き集計。規模不明を除く。()内は前回調査(令和2年5月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

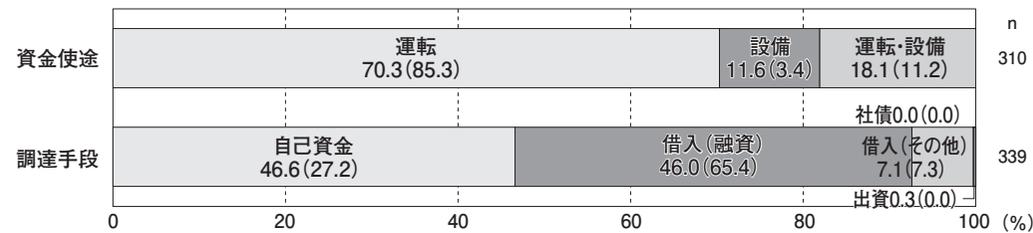
(2) 資金使途

増加する資金需要(今後3か月間)の資金使途をみると、「運転」が70.3%（前回調査85.3%）と最も高い。「運転」は前回調査と比べて15.0ポイント減少した。

(3) 調達手段

増加する資金需要(今後3か月間)の調達手段をみると、「自己資金」が46.6%（前回調査27.2%）と最も高く、次いで「借入(融資)」が46.0%（同65.4%）となり、「自己資金」と「借入(融資)」の割合はほぼ拮抗している。

図表6 資金使途と調達手段



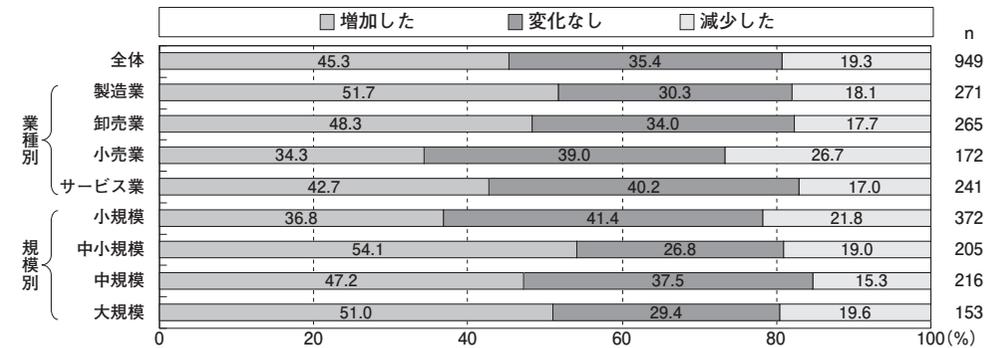
注) 資金需要(今後3か月間)(図表5)で「増加する」と回答した企業のうち無回答を除き集計。()内は前回調査(令和2年5月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

5. 金融機関からの借入金総額の状況

(1) 借入金総額（前年同時期比）

前年同時期と比べた現在の金融機関からの借入金総額の状況は、全体では「増加した」が45.3%と最も高く、次いで「変化なし」が35.4%となった。業種別にみると、製造業では「増加した」が5割を超えた。規模別にみると、中小規模と大規模では「増加した」がともに5割を超えた。

図表7 金融機関からの借入金総額（前年同時期比）

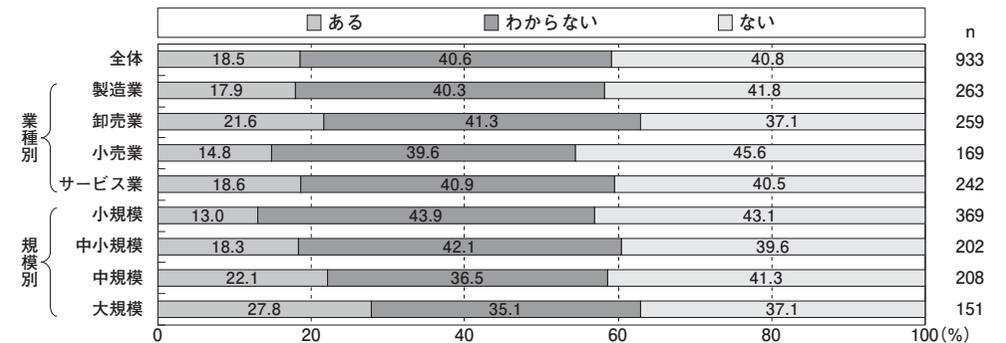


注) 無回答を除き集計。規模不明を除く。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

(2) 借入金総額の増加見込み（今後1年内）

今後1年内に金融機関からの借入金総額が現在額を上回ることがあるかについては、「ある」が18.5%となった。一方、「ない」は40.8%となっている。業種別にみると、卸売業では「ある」が2割を超える。規模別にみると、大規模では「ある」が27.8%と最も高い。

図表8 借入金総額の増加見込み（今後1年内）



注) 無回答を除き集計。規模不明を除く。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。